



南山小学校 学校だより

12月号

平成29年12月1日
港区立南山小学校
校長 明田川輝美



世界ともだちプロジェクト



校長 明田川 輝美

東京2020オリンピック・パラリンピックまで1000日を切りました。東京都では、オリンピック・パラリンピック教育の一環として、平成28年度から「世界ともだちプロジェクト」を推進しています。この取組は、世界に多くの国があり、その国の様々な人種や言語、文化、歴史などを学ぶことを通して、単に知識を広げるだけでなく、世界の多様性を知り、様々な価値観を尊重することの重要性を理解するものです。東京都が世界中から参加する地域や国をバランスよく分け、各校に割り振りました。南山小は、以下の5カ国をともだちの国として理解を深められるよう、日々の学習や生活の中に意識的に取り入れて教育活動を行っています。

南山小のともだち5カ国

- アメリカ大陸・・・カナダ
- ヨーロッパ・・・オーストリア共和国
- オセアニア・・・ミクロネシア連邦
- アジア・・・バングラデシュ人民共和国
- アフリカ大陸・・・チャド共和国



オーストリア共和国

- 【主食・主菜】
ライスフライシュ
(チキンライス)
- 【副菜】
ガーリッククリームスープ
チロル風キャベツサラダ

5カ国の食文化を学ぶために、世界ともだちプロジェクト給食として、すでに4カ国の主食・副菜を取り入れた給食体験を実施しています。カナダのメープルシロップをかけた手作りパンケーキは子供たちに大人気でした。残るはチャド共和国の給食体験です。どのような食事が給食としてアレンジされるのか、楽しみにしてください。

音楽朝会では、オーストリア民謡を歌ったり、お昼の放送では、放送委員の児童がその国の音楽や作曲家、世界遺産などについて自ら調べたことを発表したり、5カ国について親しみを深めています。また、学校図書館でも5カ国の関連図書の充実を図り、4年生が総合的な学習の時間に調べ学習として活用し、文化・食生活・歴史などについてオリンピック・パラリンピック学習ノートにまとめていました。6年生は学区域内にあるオーストリア大使館との交流も実現することもできましたので、これからも継続していけることを望みます。

学習や交流を通して、偏見や差別をもつことなく異文化を尊重する態度を養い、異なる習慣・文化を大切に認め合い、共に支え合って生きていこうとする人間性豊かな人に育ててほしいと願っています。



さて、11月は「ふれあい月間」として、各学級で様々な取り組みを行ってきました。南山小では毎月2回、学校生活アンケートを実施し、学校で嫌なことがなかったかなどを把握し、即時に解決を図っています。いじめの未然防止・早期発見・早期対応を目指して取り組んでいます。世界ともだちになるだけでなく、まずは学校のともだちと仲良く楽しく生活することが大切です。自分の良さを伸ばし、ともだちの良い所をたくさん見つけてほしいです。学年を超えて仲の良い南山の子供たちは本当に素晴らしいです。

12月の行事予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
					1 ふれあい月間 取り組み発表	2 クラブ活動 新1年体験入学
3	4 朝会 委員会 アウトリーチ (4年) スクールカウンセラー	5 安全指導	6 漢字パーフェクト テスト スクールカウンセラー	7 計算パーフェクト テスト 避難訓練	8 和楽器発表会 百人一首	9
10	11 朝会 華道(5年) スクールカウンセラー	12 音楽朝会 保護者会 ユニセフ募金 (~16日)	13 漢字再テスト	14 計算再テスト 図工校外学習 (5年)	15 百人一首	16 パラリンピック スポーツ体験 (5,6年) クラブ活動
17	18 朝会 スクールカウンセラー	19 集会	20 地域清掃	21	22 百人一首 給食終了	23 天皇誕生日
24	25 終業式 引き取り訓練	26	27	28	29	30
31						

12月の生活目標

「あそんだあとは てあらいがいをしっかりしよう」

- ・休み時間や、そうじの後は、かならずうがいをしよう
- ・気持ちのよいあいさつをしよう



みんなに伝えようプロジェクト

3年担任

3年生は、総合的な学習の時間に「自分たちの地域を伝える」学習に取り組んでいます。そこで、子供たちは話し合いを重ね、来年度入学してくる新1年生や保護者の方が南山小学校に安心して入学できるように、どのようなことを伝えたらいいのかを課題として学習を行っています。

子供たちが現在伝えようと考えていることは、次の二つです。一つ目は、南山小学校のある麻布十番商店街について知ってもらうことです。この地域の一員として地域の方々と親しくなり、友達がたくさんできるのではないかと考えました。麻布十番商店街の行事や地名（坂の名前）、老舗やオブジェについて、自分たちで商店街を歩いて探したり、地域の方にお話を聞いたりして情報を集めています。二つ目は、新1年生が安全に登下校できるように、地域の安全について伝えることです。安全面について視点をもち、地域を探索することで、これまでの自分たちの経験や新たな発見から分かったことをまとめ、伝えることができるように取り組んでいきます。

この学習を通して、自分たちで話し合い、決めた課題を3年生23名の力を合わせ、最後までやり遂げる経験をしてほしいと思います。今後、どのように課題解決に向けて、アイデアが出るのか楽しみです。

課題を解決するために地域を歩き、情報収集しました。



地域の方に、麻布十番の話をお聞きました。



和楽器体験活動 ～お囃子・踊り・箏・尺八～

音楽専科

今年度も伝統文化推進教育として、2・3年生はお囃子や踊りの体験、5・6年生は、箏や尺八の体験を行いました。

2・3年生は、南山幼稚園の幼児と共に獅子舞の踊りやお囃子を鑑賞しました。獅子舞の動きや迫力に驚きながらもかわいらしい動きなどを見つけて喜ぶ子供たちの姿が見られました。そして、「てんてこまい」の語源にもなったリズムの「仁羽」で和太鼓を体験しました。慣れないリズムに戸惑う2年生もいましたが、少しずつリズムに慣れて演奏しました。3年生は「仁羽」に合わせて手踊りも教えていただき、手の動きや角度に戸惑いながらも懸命に真似ながら踊っていました。

5年生は箏と尺八の「春の海」、6年生は箏の二重奏メドレー曲を鑑賞しました。5年生は、尺八体験の難しさにどの児童もため息を漏らしていましたが、何度もチャレンジして音が出るようになっていました。箏では「さくらさくら」の練習をしました。弦の位置を覚えるのにちょっと戸惑いながらも、何度も練習する姿が見られました。6年生は「ふるさと」を演奏体験し、右手の奏法だけでなく、左手で弦を押し音の高さを変える奏法を学びました。昨年よりも奏法が難しいところを何度も練習したり、悔しそうな表情を浮かべながら左手の指の押さえる強さを何度も調節したり、響きのよい綺麗な音色を追究していました。

12月8日には、伝統文化の体験発表を行います。参観できますので、御来校ください。



学芸会

特別活動担当

11月11日（土）に学芸会が行われました。学芸会は、自分の役割に責任をもち、協力しながら劇をつくりあげること、南山小学校の児童一人一人がお互いの良さを認め合うことを目的として取り組みました。

どの学年も、練習の成果を発揮し、素敵な劇を演じることができ、みんなで協力することの大切さを学ぶことができました。

1年生「THE RICE
～ちからをあわせてしょくたくへ～」



2年生「そうのたまごのたまごやき」



3年生「まぬけ村物語」



4年生「ゼロがわらってる」



5年生「クラリーナ国の陰謀」



6年生「そうのはな子」

